

芦屋町観光基本構想事業評価シート(案)

基本戦略1：芦屋釜をはじめとする歴史・文化を活かした魅力づくり

資料2

(1) 町内外での芦屋釜ブランドの認知向上

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度				令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
		H30 状況	R1 状況	R2 状況	R3 状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	芦屋釜の認知度向上 所管課・係：芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係 芦屋釜は、茶の湯釜の国指定重要文化財9点のうち8点を占めています。その歴史的価値や評価について広く発信することで認知向上を図り、工芸品としてのブランド力を高めます。さらに、それらを生んだ芦屋町に多くの観光客が訪れるよう、観光への活用を図ります。	A	A	C	A	[実施事業：美術館等の展覧会への出品促進] 実施目標：美術館等の展覧会への出品（作品貸出）・展示を行う。 実施結果： 美術館等の展覧会への出品（作品貸出）・展示を行った。 ・福岡県知事公舎への出品（作品貸出）・展示を行った。 ・福岡県アンテナショップへの出品（作品貸出）・展示を行った。 ・福岡県庁観光物産展示室への出品（作品貸出）・展示を行った。	A	
	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ						第1期の達成状況	
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1	美術館等の展覧会への出品（作品貸出）や展示に取り組み、町内外での芦屋釜ブランドの認知度向上に努めてきた。しかし、外部機関からの依頼に基づくものが主であるため、年度により実施回数、内容にバラつきが生じた。特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、借用を伴う美術館等の展覧会が減少し、美術館等の展覧会への出品等は無かった。 令和4年9月に芦屋釜が福岡県知事指定特産工芸品に指定されたこともあり、町内外での芦屋釜ブランドの認知度は徐々に向上しているが、さらなる認知度向上に向け取り組みを進める必要がある。		B	
②	芦屋釜に関連した土産品等の開発 所管課・係：芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係 芦屋釜に関連した土産品等の開発を実施し、芦屋町を代表する特産品として販売します。	C	A	C	A	[実施事業：芦屋鋳物のブランド化推進] 実施目標：芦屋鋳物のブランド化を推進する。 ・新たな鋳物製品を開発する。 ・芦屋鋳物師の認知度向上のため、芦屋釜復興事業の全国的な周知を図る。 実施結果： ・新規鋳物土産品として錫製酒器「飛雲（ひうん）」の販売を開始した。 ・芦屋釜復興事業の周知に取り組んだものの、全国的な周知とまではいかなかった。	B	
	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ						第1期の達成状況	
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1	芦屋釜復興工房で鋳物製品の開発・製作を行うとともに、芦屋鋳物のブランド化を推進し、町内外での芦屋釜ブランドの認知度向上に努めてきた。鋳物師の独立準備等もあり、鋳物製品の開発・製作等、目標どおりに実施できない年度もあったが、芦屋町を代表する特産品として、ふるさと納税返礼品への活用等を図った。鋳物師が独立したため、鋳物製品の開発・製作等は鋳物師が担うこととなった。鋳物師への支援の一環として、他の鋳物製品との差別化を図るための広報宣伝等、芦屋鋳物師の認知度を向上させる取り組み等を引き続き行う必要がある。		B	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)

C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

(2) 芦屋釜の里を活用した観光集客

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度				令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2	R3		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	芦屋釜の里の集客の仕組みづくり 所管課・係：芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係 芦屋釜の里は、観光に対応した文化施設として、情報発信の強化、体験プログラムの企画、イベントの充実を図り、芦屋釜の里への来園を目的とした来訪者の増加を図ります。	状況	状況	状況	状況	<p>[実施事業：旅行会社等への広告宣伝活動] 実施目標：ホームページやInstagramの内容を充実させる。 ・イベント等の実施内容や参加者の声を掲載する。 実施結果：【達成状況：B】 ホームページやInstagramにて、計画的に情報発信を図った。コロナ禍により、旅行会社への広報宣伝活動は十分に行えなかった。</p> <p>[実施事業：情報発信の推進] 実施目標：多様かつ効果的な情報発信手段を活用する。 ・ホームページ、Instagram、他機関の情報誌・ホームページ、チラシ、ポスター等を活用する。 ・観光スポットとして周知を図る（Instagramへ庭園の開花状況の掲載等）。 実施結果：【達成状況：A】 ホームページやInstagramなど活用し、計画的にイベント情報や庭園の開花状況等の周知を図った。また、企画展等を行う際にはプレスリリースも併せて行い、新聞やテレビなどで企画展が報道された。</p> <p>[実施事業：イベントや体験プログラムの実施] 実施目標：新たな客層やリピーターを増やすため、初心者向けのシリーズ講座を実施する。 実施結果：【達成状況：A】 新たな客層やリピーター確保のため、初心者でも楽しめる茶会や茶道ミニ講座及び鋳物講座、子ども向け事業として夏休みクイズラリー等を実施した。</p> <p>[実施事業：外国人観光客への対応] 実施目標：施設の表示等を見直し、受け入れ態勢の充実を図る。 ・音声ガイドアプリ導入に向けて検討を行う（既導入施設の視察、予算化に向けた経費算出等）。 実施結果：【達成状況：B】 園内表示の一部の多言語化を行った。音声ガイドアプリ導入については、他施設を参考にしながら、予算化を含めて引き続き検討する必要がある。</p>	B	
	事業数 4	事業数 4	事業数 4	事業数 4	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ		第1期の達成状況	
						<p>「旅行会社等への広告宣伝活動」「情報発信の推進」「イベントや体験プログラムの実施」「外国人観光客への対応」を実施し、芦屋釜の里を活用した観光集客に努めてきた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、「旅行会社等への広告宣伝活動」「イベントや体験プログラムの実施」など、十分に取り組みなかった事業もあったが、体験型のプログラム造成や芦屋釜の里のInstagramの立ち上げ等、新たな観光集客につながる取り組みを実施できた。 また、英語版、中国語版の園内表示を増やし、外国人観光客への対応を図った。 今後は、スマートフォンを活用した音声ガイドアプリ（外国語対応）の導入等を検討し、さらなる観光集客を目指し、様々な取り組みを進めていく必要がある。</p>	B	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

②	芦屋釜の里を活用した回遊の仕組みづくり	H30	R1	R2	R3	令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
	所管課・係：芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係、芦屋町観光協会	状況	状況	状況	状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
	芦屋釜の里に来園した観光客が町内を回遊し、芦屋町での滞在時間が長くなるよう、食事や買い物、観光スポットの整備、回遊コースの設定など、各所の連携の仕組みづくりを行います。併せて、それらの情報発信についても強化します。	A	A:2	B:2	A:1 B:1	<p>『芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係』 [実施事業：町内観光施設等と連携した回遊の仕組みづくり] 実施目標：来館者の町内回遊行動を誘発する。 ・ 通年、各時期で利用できる観光情報（観光施設、食事処等）を収集する。 ・ 収集した情報を来館者へ周知・提供する。 実施結果：【達成状況：B】 ・ 観光マップを活用し、町内の観光スポット等の案内を行った。 ・ マリンテラスあしやと連携し、芦屋釜の里来館者に対するマリンテラス利用客のランチ及び入浴料の割引サービスを実施した。 ・ あしや砂像展と連携し、入館料の割引サービスを実施した。 ・ 新たな連携事業者の発掘までには至らなかった。</p> <p>[実施事業：あしやナビ協議会への協力] 実施目標：あしやナビ協議会の事業に参画・協力する。 実施結果：【達成状況：B】 ・ あしやナビ協議会の事業への参画、協力として芦屋釜の里の観光情報を提供したが、十分な情報発信に至らなかった。</p>	B	
	事業数 1	事業数 2	事業数 2	事業数 2				
	A	A	D	A:1 D:1	<p>『芦屋町観光協会』 [実施事業：町内観光施設等と連携した回遊の仕組みづくり] 実施目標：なんじゃもんじゃの樹の開花に合わせた出張観光案内所（新型コロナウイルス感染症の状況を見て事業の実施を検討する） 実施結果：【達成状況：C】 ・ 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、岡湊神社での出店を募集していなかったため未実施。 ・ 町内回遊に必要なパンフレット等の情報を岡湊神社へ提供を行った。</p> <p>[実施事業：芦屋釜を拠点とした町内回遊コンテンツの創出] 実施目標：新型コロナウイルス感染症の状況を見て事業の実施を検討する 実施結果：【達成状況：A】 ・ 芦屋釜を拠点とした体験プログラムである「特別な日の撮影」を昨年度に引き続き実施した。</p>			
事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 2					
	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ						第1期の達成状況	
							状況	状況が「C」「D」の場合の理由
						<p>『芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係』 【達成状況：B】 町内観光施設（食事処等）の情報収集や来園者への情報提供、マリンテラスあしややあしや砂像展と連携した割引サービス等により、芦屋釜の里を活用した周遊の仕組みづくりに努めた。 芦屋港レジャー港化の開業に合わせ、改めて町内周遊につながる仕組みづくりに向け、関係機関と協議等、必要な取り組みを実施していく必要がある。</p> <p>『芦屋町観光協会』 【達成状況：B】 ・ 芦屋釜を知るきっかけとして、芦屋釜の里を活用した特別な思い出、記念に残る体験型プログラムを作成した。撮影プランの中には、芦屋町商工会の商品券を付けたことで、町内を周遊するきっかけを作ることができた。 ・ 情報発信としては、主にあしや体験隊ホームページ、あしや体験隊インスタグラムで発信を行っているが、申込数が少ないことからPR不足であると考え。今後はターゲットを絞った情報発信と広域でのPR方法を検討していく必要がある。 ・ 参加者からの要望として撮影後にお祝い膳を提供してくれる場所や、芦屋町で食事をする場所を知りたい等の声があるため、町内事業者と連携したオプションプランも今後検討していく必要がある。 ・ 自主事業であるレンタサイクルの町内回遊キャンペーンについて、芦屋釜の里を利用した場合、レンタサイクルの割引の対象事業所となっているため、回遊に繋がっていると考える。 ・ なんじゃもんじゃの樹の開花に合わせた出張観光案内所について、リアルタイムな情報を事前に収集し、訪問者にお伝えすることで町内回遊に繋げることができた。 また、平成30年度に出店した際に、当町にポートレースがあるため行ってみたいという方が多かったため、ポートレース芦屋と調整を行い、ゴールデンウィーク期間中のイベント情報のPR、800円分（入場料&指定席料）のチケットの無料配布を実施した。令和2年度より新型コロナウイルス感染症の影響により、出店を中止とした。今後は新型コロナウイルス感染症の状況を見て事業の実施を検討する。 ・ 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、岡湊神社での出店を募集していなかったため未実施。町内回遊に必要なパンフレット等の情報を岡湊神社へ提供を行った。芦屋釜を拠点とした体験プログラムについては、昨年度に引き続き「特別な日の撮影」を実施した。</p>	B	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)

C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

(3) 芦屋の歴史を活かした魅力づくり

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度				令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2	R3		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	芦屋歴史の里の活用 所管課・係：芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係 芦屋町の歴史を知る場である芦屋歴史の里においては、様々な企画展などを通じ、集客拠点の一つとなるような取り組みを推進します。	状況	状況	状況	状況	【実施事業：特別展・企画展の実施】 実施目標：以下の3つの展示会を実施する。 【特別展】①源平合戦 モノノフの時代展 ②玉井家・吉田家・杉山家～人の望みと喜びと～ 【企画展】③芦屋かるた展 実施結果： 2つの特別展、1つの企画展の合計3つの展示会を予定どおり実施した。また、すべての展示会において、報道関係からの取材・報道があり、新聞やテレビを通して、展示会を広く周知することができた。	A	
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ ・各年約2回の特別展や企画展では、郷土に所縁のある人物や作品を紹介することができた。特に令和3年度は、町制施行130周年記念特別展として、福岡市博物館にある現存最古の国産自動車アロー号を株式会社矢野特殊自動車協力のもと借用し、福岡市博物館と連携し展示することができた。 ・テレビ放映や新聞に掲載されることもあったが、来館者数を増やすためにも情報発信方法は継続して検討する必要がある。また、展示品の解説やナレーション機能をもったアプリの導入等の来館サービス向上も検討する必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、開催期間中に臨時休館となった時期もあり、やむをえず公開期間が縮小となった特別展もあった。	第1期の達成状況 状況	状況が「C」「D」の場合の理由	
②	歴史を活かした町内散策の商品づくり 所管課・係：芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係 芦屋町の豊富な歴史資源を活用し、観光客に楽しんでもらうため、歴史散策ツアーなどを実施します。併せて、歴史ボランティアガイドなど、芦屋町の歴史を伝える人材育成についても検討します。	状況	状況	状況	状況	【実施事業：歴史資源を活用したイベントの実施】 実施目標：以下の2つの歴史資源を活用したイベントを実施する。 ①化石探検 堂山周辺の海岸で化石を探す。 ②郷土史跡めぐり 芦屋に所縁のある人物や場所に関連した史跡を散策しながら解説する。 実施結果： 化石探検や郷土史跡めぐりを計画どおり実施した。今後は、芦屋町の歴史を深く知ってもらおうという点で、町内の史跡をどのように活用していくのか、検討していく必要がある。	A	
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ ・様々な郷土史跡や地層群など、歴史的資源を活用した企画イベントやツアーについて、継続して実施することができた。 ・活動内容が主に散策やフィールドワークのため、天候に影響を受けることが課題である。また、幅広く新規の参加者を募り、多くの人に参加してもらえらるための検討が引き続き必要である。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした事業もあった。 ・歴史ボランティアガイドについては、今後、郷土史研究会と協議を進める必要がある。	第1期の達成状況 状況	状況が「C」「D」の場合の理由	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)

C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

基本戦略2：芦屋の素材を活かした食の魅力づくり

(1) ”あしやんいか”の認知向上、ブランド化

No.	展開する取り組み項目				年度				令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況		
	事業概要				H30	R1	R2	R3		状況	状況が「C」「D」の場合の理由	
①	”あしやんいか”のブランド化推進 所管課・係：産業観光課 農林水産係				D	B	B	C	【実施事業：販路拡大に向けたPR】 実施目標： ・ロゴマーク・名称の使用希望者にのぼりの提供等を実施する。 ・販路拡大を目指し、他漁協との連携強化について情報収集と検討を行う。 実施結果： ・遠賀漁協への聞き取りを実施し、現状把握を行った。 ・ロゴマーク・名称の使用希望者なし。	C	あしやんいかブランドのロゴマーク、名称使用に関する新規開拓は出来ず、ブランド化推進も図れなかった。	
	”あしやんいか”をブランド化するため、ロゴマークや名称の普及を図ります。また、町内飲食店においてイカ料理の提供を促進します。											
	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ				事業数1		事業数1		あしやんいかの販路については、漁獲量の減少の理由等により、あしやんいかにて特化した販路拡大に向けた新規開拓は実現していない。ブランドを残したいとする思いはあるが、具体的な方策は見つかっていない。第2期以降においては、あしやんいかに限定せず、地域産品を利用した加工品の開発に取り組む。また、販路拡大に向け、遠賀漁業協同組合やJA、各関係機関との連携強化を図る。	C	福岡県産釣りイカブランドである「一本槍」との棲み分けが出来ずあしやんいかブランドのロゴマーク、名称使用に関する新規開拓は出来なかった。	
②	”あしやんいか”を活用したイベントの実施 所管課・係：産業観光課 商工観光係								令和4年度実施結果	—	—	令和4年度目標の達成状況 状況が「C」「D」の場合の理由
	町内飲食店が”あしやんいか”オリジナルメニューを提供する期間限定イベント「あしやんいかフェア（仮称）」の開催を検討します。 期間中は食べるのみならず、販売施設において、さばき方を教えるなどのイベント実施も併せて検討します。											
	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ								・平成27年から実施している「芦屋No.1プロジェクト」の中で、プロジェクト推進に向けた推進体制の整備を行い、さわらを活用した水産施策展開等の事業を実施しているため、あしやんいかにて特化したイベントを検討しなかった。		状況が「C」「D」の場合の理由	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

(2) 農水産物を活用した食・特産品の魅力づくり

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度				令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2	R3		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	<p>地域食材を活用した特産品・食メニューの開発及び魅力向上</p> <p>所管課・係：芦屋町商工会</p> <p>芦屋町の農作物（赤じそ、ネギなど）、水産物（イカ、アジ、イワシなど）を使った特産品や飲食店などで提供する食メニューの新たな開発を推進します。</p> <p>また、既存の特産品について、生産者のこだわり、製法の特徴などのセールスポイントを明確にし、商品デザインやパッケージを再検討するなど、商品の魅力向上を図り、ブランド化を推進します。併せて、埋もれた郷土料理についても芦屋町の重要な文化と捉え、復興を図ります。</p>	状況	状況	状況	状況	<p>【実施事業：特産品開発プロジェクトの推進】</p> <p>実施目標：令和3年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染状況や、国、県等の地域経済活性化に向けた方向性等を注視しながら、まずはこれまで本会の「特産品等開発プロジェクト」事業の継続を図る中で、既存の特産品等の販路開拓等の取り組みを中心に事業の実施に努めたい。</p> <p>実施結果：【達成状況：B】</p> <p>特産品の主だった新規開発は実施出来なかったが、パルセイユ株式会社と長野県松本市との連携で開発した商品の販路拡大のため、以下の取り組みを実施。</p> <p>【販路先開拓の為、主要機関への訪問】</p> <p>日時：令和4年8月31日～9月1日</p> <p>【「松本あめ市」への出店】</p> <p>日時：令和5年1月6日～1月8日</p>	B	
		A:1 B:1	A:1 B:1	C:2	B:1 D:1	<p>【実施事業：「さわらサミット」への参画及びさわらを基軸としたメニュー開発促進】</p> <p>実施目標：令和4年度も引き続き、新型コロナウイルスの感染状況等を注視しながら、「さわらサミット」の開催が行われる場合は、「さわらサミット」への参画を中心に、芦屋町の特産品の一つである「鱈」を中心とした水産資源の認知度アップに向けた取り組みに努める。</p> <p>実施結果：【達成状況：B】</p> <p>「さわらサミット」は開催されなかったが、代わりとして「芦屋さわらレシピコンテスト2023」が開催され、事業者への周知や声掛けにより、8件のレシピ提供を行った。</p>		
		事業数 2	事業数 2	事業数 2	事業数 2	<p>第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ</p> <p>【特産品開発プロジェクトの推進】</p> <p>H30においては、芦屋釜の里&南カムカンパニーの共同企画による「芦屋釜ろん」、八木鑄金&パルセイユ㈱のラボ企画による「物かたり」の開発を実施</p> <p>R1においては、八木鑄金&パルセイユ㈱の共同企画による「あしや釜チョコ」の開発を実施し、またこの頃より松本市との共同企画が具体的に実施され始めた。</p> <p>R2においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大きな動きが出来なかった。</p> <p>R3においては、九州国立博物館内ミュージアムショップにおいて、芦屋町の特産を販売する企画が実行された。</p> <p>【「さわらサミット」への参画及びさわらを基軸としたメニュー開発促進】</p> <p>H30においては、「さわらサミット」を開催できたものの、不漁の影響もあり、安定供給への課題が浮き彫りになった。</p> <p>R1においては、水産加工品のラインナップはある程度充実していたが、飲食店におけるメニュー開発は昨年からの不漁の影響もあり思うような取り組みが出来なかった。</p> <p>R2においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、「さわらサミット」が中止となり、活動ができなかった。</p> <p>R3においても、R2同様新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、「さわらサミット」は中止となったが、巡回訪問にて広報PRに向けた取り組みを実施した。</p> <p>R4においても、R3同様新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったが、販路拡大の為の取り組みや「芦屋さわらレシピコンテスト2023」への参画等を実施した。</p>	第1期の達成状況	
						状況	状況が「C」「D」の場合の理由	
							B	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)

C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

特産品・食メニューを集約した販路の構築	H30	R1	R2	R3	令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
所管課・係：芦屋町商工会、産業観光課 農林水産係	状況	状況	状況	状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
開発、魅力向上させた特産品や食メニューについて、町内の各施設で「特産品コーナー」を設けるなどの販路を構築していきます。併せて、町外への販路拡大を目指します。	A:3	A:3	C:2	A:1 B:2	<p>『芦屋町商工会』</p> <p>[実施事業：展示・商談会等への出展]</p> <p>実施目標：令和4年度も新型コロナウイルスの感染状況等を注視しながら、各種イベントや、展示・商談会等の開催状況等を確認しながら、町内事業者の特産品等の販路拡大に向けた出展支援の実施を図る。</p> <p>実施結果：【達成状況：B】</p> <p>町内および県内におけるイベント等への出展は出来なかったが、パルセイロ株式会社にて、長野県松本市での下記イベントへの出店を実施。</p> <p>【「松本あめ市」への出店】</p> <p>日時：令和5年1月6日～1月8日</p> <p>[実施事業：近隣市町村等への営業活動の推進]</p> <p>実施目標：新型コロナウイルスの感染状況等を注視しながら、近隣市町村等での各種イベントや行事等の開催状況も確認し、近隣市町村等への芦屋町の特産品等の広報PRや販路開拓に繋がる販売拠点の拡充に向けた取組みの実施を図る。</p> <p>実施結果：【達成状況：B】</p> <p>近隣市町村等での各種イベントや行事には参画出来なかったが、芦屋町商工会青年部にて作成した、「砂塩」を水巻町の「ICOTTO! MIZUMAKI」へ出品を図った。</p> <p>[実施事業：県外への特産品販路開拓に向けた取り組みの推進]</p> <p>実施目標：令和3年度に本格的な進展を見せ始めた長野県松本市と連携した新商品開発を始め、芦屋-松本間のさらなる経済交流実現に向けた取組みの推進を図るため、芦屋町や、松本市の観光大使である専門家等との連携を強化し事業の実施に努める。</p> <p>実施結果：【達成状況：B】</p> <p>新商品の開発は出来なかったが、パルセイロ株式会社が長野県松本市との連携で開発した商品の販路拡大のため、以下の取組みを実施。</p> <p>【販路先開拓の為、主要機関への訪問】</p> <p>日時：令和4年8月31日～9月1日</p>	B	
	事業数 3	事業数 3	事業数 2	事業数 3	<p>H30</p> <p>状況</p> <p>R1</p> <p>状況</p> <p>R2</p> <p>状況</p> <p>R3</p> <p>状況</p> <p>『産業観光課 農林水産係』</p> <p>[実施事業：提供可能な農産物等の紹介]</p> <p>実施目標：各種イベントや農産物の販売実施希望者と条件整理等を行ったうえで、各農事組合と連携し提供可能な農産物等の紹介を行う。</p> <p>実施結果：【達成状況：C】</p> <p>コロナ禍は収束傾向にあったが、イベント自体が少なく農産物販売支援には至らなかった。</p>		
	事業数 2	事業数 2	事業数 2	事業数 2	<p>[実施事業：販路拡大に向けた情報の提供]</p> <p>実施目標：販路拡大意向調査の結果に基づき、対象者に向けた講習会や拡大成功例、購入希望事業者等の有益情報を随時提供する。</p> <p>実施結果：【達成状況：B】</p> <p>令和元年度より1月1日を基準日とした販路拡大の意向調査を毎年実施している。今年度は販路拡大の新規相談者もなく、講習会、情報提供ともに未実施である。</p>		

②

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

				第1期の達成状況	
第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ				状況	状況が「C」「D」の場合の理由
			<p>『芦屋町商工会』</p> <p>【達成状況：B】</p> <p>H30においては、①RKBラジオ祭り、②ふくおか町村フェア、③ふくおか農と商工の自慢の逸品展示商談会への出店を行った。</p> <p>R1においては、①RKBハワイ祭り、②出張DOCORE&遠賀の逸品in県庁ロビー2020、③松本市 福岡芦屋の鱒と楽しむ信州の日本酒Fiesta2020への出店を行った。</p> <p>R2においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、各種イベントが中止となり出店ができなかった。</p> <p>R3については、九州国立博物館内のミュージアムショップで芦屋町の特産品の販売を行った。</p> <p>R4については、福岡県商工会連合会が運営を行っている「DOCOREふくおか商工会ショップ（於：博多マルイ）」へ芦屋産の赤しそを使用した「バルセイユ 赤しそ塩のど飴」の出品支援を実施した。また、長野県松本市で開催された「松本あめ市」への出店や「COTTO! MIZUMAKI」への出品も行った。</p> <p>『産業観光課 農林水産係』</p> <p>[提供可能な農産物等の紹介]</p> <p>【達成状況：B】</p> <p>各種イベントでの農産物出展の実施に向け、生産者へのアプローチを試みたが、イベントへの出店には至っていない。特に令和2年度以降はコロナ禍によるイベント自粛の影響もあり事業は進展していない。</p> <p>[販路拡大に向けた情報の提供]</p> <p>令和元年度より1月1日を基準日とした販路拡大の意向調査を毎年実施している。意向を持つ生産者へは、随時情報提供を行っている。</p>	B	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

基本戦略3：まつり・イベントを活用した集客と知名度の向上

(1) 既存イベントの集客力向上

No.	展開する取り組み項目	年度				令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2	R3		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	各イベントの連携及び集客 所管課・係：産業観光課 商工観光係	状況	状況	状況	状況	[実施事業：各種イベントの連携] 実施目標：砂像展及びさわらサミットでの双方のイベントの効果的なPR方法を検証し、実施する。 実施結果：砂像展期間中は、さわらサミット開催検討中であったため相互PRはできなかったが、さわらサミットから変更してさわらレシピコンテストを実施することとなった際に、雑誌の企画で天神にてイベント出展時、砂像展を含めた芦屋町のPRを行った。	A	
	既存イベントの実施手法や開催時期、個々のイベント間の連携や同時開催について検討を行い、さらに集客力のあるイベントへと成長させていきます。	B	B	C	C			
		事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ	第1期の達成状況	
						・砂像展と祭りあしやの同時開催を行い、相互の来場者アップに繋がった。 ・砂像展とさわらサミットの双方イベントでのPRについては、新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止(R2～R3)により実施できなかった。 ・さわらイベントのPR時に砂像展を含めた芦屋町のPRを行った。	B	
②	各イベントにおける特産品の提供促進 所管課・係：産業観光課 商工観光係	H30	R1	R2	R3	令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
	実施する各イベント（祭りあしや、花火大会など）において、町内生産者、販売者の出店を促進し、観光客に対して芦屋町を満喫していただくための取り組みを推進します。	状況	状況	状況	状況	[実施事業：イベントにおける町内事業者の出店促進] 実施目標：あしや砂像展及びさわらサミットにおいて、町内出店事業者の誘致を促進する。 実施結果： ・計画どおり実施し、あしや砂像展において商工会会員である飲食店を6店舗誘致できた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大及び施設の状況を踏まえ「さわらサミット」は「さわらレシピコンテスト」に変更して実施した。町内飲食店12店舗からのレシピ応募があった。 ・あしや砂像展にてブランド認定品のPR及び販売を行った。 ・あしや花火大会にて町内事業者9店舗の出店があった。	A	
		A:1 B:1	A:2	D:2	B	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ	第1期の達成状況	
		事業数 2	事業数 2	事業数 2	事業数 1	・令和2年度までは、実施事業を「イベントにおける特産品の提供促進」と「イベントにおける町内事業者の出店促進」の2つを実施した。 ・「イベントにおける特産品の提供促進」について、さわらサミットにて漁協やJA青年部と連携し、さわら切り身や農産物を販売した。新型コロナウイルス感染症の影響でイベント実施ができなかった際は、事業も実施できなかった。漁業者の意識向上へ働きかけを行ない事業者数を増やす必要があるため、令和3年度から「イベントにおける町内事業者の出店促進」に統合した。 ・「イベントにおける町内事業者の出店促進」として、あしや砂像展の飲食店やさわらサミット及びさわらフェアで町内事業者を誘致した。 ・令和4年度はさわらレシピコンテスト、あしや砂像展及びあしや花火大会にて町内事業者を誘致できた。また、あしや砂像展にてブランド認定品のPR及び販売を行った。	B	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

各イベントの情報発信の充実	H30	R1	R2	R3	令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況						
	状況	状況	状況	状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由					
イベント情報を時期毎に集約して広報するなど、効率的かつ効果的な情報発信を行うことで、各イベントの集客増加を図り、町全体での交流人口の増加につなげます。	A	A	D	B	『芦屋町観光協会』 【実施事業：あしやナビ「ガイドブック」の更新】 実施目標：「簡易的な観光案内所」に登録のある店舗へ春夏秋冬のモデルコース情報の提供を行う 実施結果：【達成状況：B】 ・春夏秋冬のモデルコースの誌面を作成したが、印刷費が値上がりしており予算の都合上、印刷までは出来なかった。令和5年度に印刷を行い、簡易的な観光案内所の登録店に配布予定。	B	状況が「C」「D」の場合の理由					
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1								
	H30	R1	R2	R3	『産業観光課 商工観光係』 【実施事業：効果的な情報発信】 実施目標：「あしや花火大会」周知：広報掲載、チラシ折込、IP・SNS・ブログ掲載 等 ・「あしや砂像展」周知：広報掲載、チラシ折込、HP・SNS・ブログ掲載の更新、他イベント出店によるPR 等 ・「祭りあしや」周知：広報掲載、チラシ折込、IP・SNS・ブログ掲載 等 ・「さわらすま」周知：広報掲載、チラシ折込、HP・SNS・ブログ掲載の更新、他イベント出店によるPR 等 ・はまゆう開花状況など、観光情報周知 実施結果：【達成状況：A】 ・計画どおりイベントについて周知をすることができた。 ・「あしや砂像展」周知：広報掲載、チラシ折込、HP・SNSの更新、他イベント出店によるPR ・「祭りあしや」周知：広報掲載、チラシ折込 ・「さわらすまコンテスト」周知：広報掲載、チラシ配布、HP掲載、他イベント出店によるPR ・はまゆう開花状況など、観光情報周知							
	状況	状況	状況	状況								
	A	A	D	C								
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1								
	H30	R1	R2	R3				『企画政策課 地方創生推進係』 【実施事業：戦略的情報発信プロジェクト】 実施目標：観光情報サイトの反省点を活かし、新たに「シティプロモーションサイト」を制作する。 また、Ashiya Town Tubeや各SNSと連携し、効果的な情報発信を目指す。 実施結果：【達成状況：B】 新たなシティプロモーションサイトとして「芦屋町タウンプロモーションサイト」を制作した。しかし、公開が令和5年4月となり、令和4年度中に情報発信ができなかった。				
	状況	状況	状況	状況								
	B	C	B	B								
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1								
	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ								第1期の達成状況			
									状況	状況が「C」「D」の場合の理由		
『芦屋町観光協会』 【達成状況：B】 ・平成29年度からあしやナビ事業「簡易的な観光案内所の設置」を実施しており、町内の事業所を中心に簡易的な観光案内所としての登録を促した、登録した店舗へは観光案内用として、イベント、町内施設、飲食、宿、土産品情報等を掲載したガイドブックを作成し観光案内に利用いただいた。令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響でイベント等が中止となったため、ガイドブックの作成は行わなかった。 ・令和3年度にコロナ禍においても実施できる事業として、あしやナビ協議会がおすすめする春夏秋冬のモデルコースを作成し、WEB上に公開した。 ・芦屋町観光協会の公式サイト、有料WEBページ（旅色）にて、芦屋町のイベント情報、景観地の情報掲載を行った。 ・リアルタイムな情報発信としては、SNS（フェイスブック、ツイッター、インスタグラム）を活用した情報発信を実施。 ・芦屋海浜公園の指定管理者であることから、芦屋海浜公園内で実施される他団体イベントの情報をメディアへ情報提供を実施した。 ・芦屋海浜公園レジャーブルの来場者が多いことから、デジタルサイネージ（電子看板）を設置し、町内イベント、飲食店情報を中心に情報掲載を行った。 ・あしやナビ協議会委員の意見を基に、春夏秋冬のモデルコースの誌面を作成したが、印刷費が値上がりしており予算の都合上、印刷までは出来なかった。令和5年度に印刷を行い、簡易的な観光案内所の登録店に配布予定。						B	状況が「C」「D」の場合の理由					
『産業観光課 商工観光係』 【達成状況：B】 ・広報あしや、HP及びSNS等を活用して、各イベント情報を効果的に発信した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響でイベント実施ができなかった年は、観光協会と連携しSNSを活用した観光情報の発信に努めた。												
『企画政策課 地方創生推進係』 【達成状況：B】 ・地方創生加速化交付金を活用して、平成28年度に芦屋町情報発信プロジェクトとして、動画製作・webコンテンツ製作（観光情報サイト）・リーフレット制作・町民向け情報発信仕組みづくり調査研究を行った。 ・令和2年度から3年度については、新型コロナの影響によりイベントが実施できなかったこともあり、効果的な情報発信が行えなかった。 ・令和4年度は、「芦屋町タウンプロモーションサイト」を制作した。												

③

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
 C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

(2) 町の魅力を活かしたイベントの創出

No.	展開する取り組み項目				令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
	H30	R1	R2	R3		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	事業概要				【実施事業：夏井ヶ浜はまゆう公園におけるイベントの誘致】 実施目標：新型コロナウイルス感染症の今後の収束状況をみながら、公園利用における効果的なPR方法を検討し、はまゆう公園での催し物等を誘致する。 実施結果：観光公園利用申請があった際は、感染対策等確認し受付を行った。ヨガのイベント、なみかけ観光ジョギング等で参加者にロケーションの良さ等をアピールすることができた。対外的なPRについて、ホームページを活用し周知を行った。	A	
	海岸線・海の魅力を活かしたイベントの開催						
	所管課・係：産業観光課 商工観光係 芦屋海岸、夏井ヶ浜、洞山など、海の魅力を活かしたイベントの創出や音楽イベントなどの誘致について、実施主体や手法を含めた検討を行います。						
②	地域魅力を活かしたイベントの再開				令和4年度実施結果 完了 (砂像展再開)	—	
	所管課・係：産業観光課 商工観光係 これまで休止や中止に至ったイベントについて、その理由を検証し、実施規模や実施方法などの再検討を行います。						
	完了						
③	地域資源を活かしたイベントの創出				令和4年度実施結果 【実施事業：さわらサミットの実施】 実施目標：新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、さわらサミットを実施する。 実施結果：新型コロナウイルス感染症拡大及び施設の状況を踏まえ「さわらサミット」はさわらを使ったレシピを募集する「さわらレシピコンテスト」に変更して実施した。広報紙やフリーペーパー掲載、チラシ配布等のPRでレシピ募集し、応募が総数158点あった。一次選考を通過した各部門5レシピを、レシピ考案者が実際に調理し、審査員10名による実食審査を行い、各部門のグランプリレシピを決定した。また、結果を広報紙、ホームページやフリーペーパーへ掲載し、PRを行った。	A	
	所管課・係：産業観光課 商工観光係 地域資源を活かした新たな魅力創出のための調査研究を行い、芦屋町らしいイベントの創出を検討します。						
	B						
③	事業数				令和4年度実施結果 完了 (砂像展再開)	—	
	事業数 1						
	完了						
③	第1期芦屋町観光基本構想(平成25年度～令和4年度)のまとめ				令和4年度実施結果 完了 (砂像展再開)	—	
	第1期芦屋町観光基本構想(平成25年度～令和4年度)のまとめ ・夏井ヶ浜はまゆう公園を活用した映画撮影や公園使用の申請があった際には、調整のうえ対応を行った。 ・令和2年度から令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で他の施設の閉館等で、公園の利用者は多くみられた。 ・観光協会と連携して効果的なPRを行い、活用を促していく。						
	第1期芦屋町観光基本構想(平成25年度～令和4年度)のまとめ ・平成26年から砂像展を再開し事業達成のため完了。						
③	地域資源を活かしたイベントの創出				令和4年度実施結果 【実施事業：さわらサミットの実施】 実施目標：新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、さわらサミットを実施する。 実施結果：新型コロナウイルス感染症拡大及び施設の状況を踏まえ「さわらサミット」はさわらを使ったレシピを募集する「さわらレシピコンテスト」に変更して実施した。広報紙やフリーペーパー掲載、チラシ配布等のPRでレシピ募集し、応募が総数158点あった。一次選考を通過した各部門5レシピを、レシピ考案者が実際に調理し、審査員10名による実食審査を行い、各部門のグランプリレシピを決定した。また、結果を広報紙、ホームページやフリーペーパーへ掲載し、PRを行った。	A	
	所管課・係：産業観光課 商工観光係 地域資源を活かした新たな魅力創出のための調査研究を行い、芦屋町らしいイベントの創出を検討します。						
	B						
③	事業数				令和4年度実施結果 完了 (砂像展再開)	—	
	事業数 1						
	完了						
③	第1期芦屋町観光基本構想(平成25年度～令和4年度)のまとめ				令和4年度実施結果 完了 (砂像展再開)	—	
	第1期芦屋町観光基本構想(平成25年度～令和4年度)のまとめ ・平成28年度から令和元年までの4年間、地域資源である「さわら」を活用した「さわらサミット」をポートレス芦屋場内で実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で「さわらサミット」の実施ができなかった際は、「さわらフェア」のみを実施し、広報紙に折込チラシにて周知PRやのぼりの作成・設置等、コロナ禍でも行える事業を実施した。 ・令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大及び施設の状況を踏まえ、さわらレシピコンテストを実施し、広報紙やフリーペーパー掲載、チラシ配布等のPRでレシピ募集及び審査を行い、あしやのさわらのPRを行った。						
	第1期芦屋町観光基本構想(平成25年度～令和4年度)のまとめ ・平成28年度から令和元年までの4年間、地域資源である「さわら」を活用した「さわらサミット」をポートレス芦屋場内で実施した。						

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)

C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

基本戦略4：地域資源を活かした観光の魅力づくり

(1) 町内回遊のための魅力づくり

No.	展開する取り組み項目 実施概要	年度				令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2	R3		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	ウォーキング・サイクリング・ドライブ等の魅力向上 所管課・係：芦屋町観光協会、産業観光課 商工観光係	状況	状況	状況	状況	『芦屋町観光協会』 [実施事業：サイクリングを活用した観光ガイド事業] 実施目標：自転車観光ガイドが町内を案内し芦屋町の魅力を伝える事業「海街・芦屋サイクリング」の利用者増を図る 実施結果：【達成状況：A】 ・昨年度に引き続き実施した。 ・新しいPR方法として、全国的に閲覧されている体験申込サイト（じゃらん.net）を活用し、募集を行った	B	
	ウォーキングやサイクリング、ドライブなど、観光客の移動手段に応じた芦屋町の見所や回遊ルートの設定を行い、それを周知することで、町内回遊客の増加を図ります。	A	A	A	A:2			
		事業数	事業数	事業数	事業数	[実施事業：レンタサイクル町内回遊キャンペーン事業] 実施目標：新規店舗の加入促進とパンフレットの刷新 実施結果：【達成状況：C】 ・町内事業所において、新規で開業する店舗が増えてきているため、令和4年度の町内回遊キャンペーンの刷新は見送り、令和5年度に新規店舗への加入声掛けと刷新することとした。		
		H30	R1	R2	R3	『産業観光課 商工観光係』 [実施事業：周遊マップの周知・活用] 実施目標：筑前玄海地域観光推進協議会において検討・実施した事業を活用し、町内回遊客増に繋げていく。 実施結果：【達成状況：A】 ・筑前玄海地域観光推進協議会において、情報誌「シティ情報ふくおか」4月号（令和5年3月28日発売）に掲載した。また、記事を抜粋し雑誌を作成した。合わせてシティ情報ふくおかでのSNS発信をおこなった。情報誌には町内事業所等が掲載されており、町内周遊の促進を図った。		
		事業数	事業数	事業数	事業数			
						第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ	第1期の達成状況	
						『芦屋町観光協会』 【達成状況：B】 [サイクリングを活用した観光ガイド事業] ・福岡県内で芦屋町のみが常時予約可能となっている。 ・現在2名のガイドで実施しており、どちらも全国通訳案内士の資格（英語、中国語）を保有している。今後は町内者でガイドする方を増やしていくことと、外国語対応を検討していく。 ・情報発信としては、主に町内主要施設へのポスター掲示、あしや体験隊ホームページ、SNSによる発信を行っているが、申込数が少ないのが現状である。今後はターゲットを絞った情報発信と広域でのPR方法を検討していく必要がある。 ・サイクリング愛好家が観光地に立ち寄りやすいよう芦屋釜の里、洞山にサイクルスタンドを設置した。今後はサイクリング愛好家へヒアリングを行い、サイクリング愛好家が立ち寄りやすいようサイクルスタンドの設置等を推進していく。 ・新しいPR方法として、全国的に閲覧されている体験申込サイト（じゃらん.net）を活用し、募集を行った。 [レンタサイクル町内回遊キャンペーン事業] ・平成30年度から開始した同キャンペーンは年々利用者が増加してきており、町内を周遊するきっかけとなっている。 ・今後は、同キャンペーンに参画する店舗を増やし、レンタサイクル利用者が芦屋町の店舗を周遊するよう事業を継続していく。 ・新規店舗が増えてきているため、令和4年度の町内回遊キャンペーンの刷新は見送り、令和5年度に新規店舗への加入声掛けと刷新することとした。 『産業観光課 商工観光係』 【達成状況：A】 ・筑前玄海地域観光推進協議会において作成した周遊マップ「ご朱印で巡る筑前玄海エリアゆる旅ガイド」を活用し、ガイド掲載店舗、岡湊神社や観光協会等に設置し町内回遊客増を図った。また、同協議会にて雑誌「シティ情報ふくおか」へ筑前玄海エリア紹介記事を掲載し、PRを行った。	B	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)

C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

②	商店街における賑わいの創出				令和4年度実施結果				令和4年度目標の達成状況		
	所管課・係：芦屋町商工会、産業観光課 商工観光係	H30 状況	R1 状況	R2 状況	R3 状況					状況	状況が「C」「D」の場合の理由
商店街において、イベントの実施や観光客が散策できる仕組みづくりを行い、賑わいを創出します。 さらに、訪れた人が商店街を楽しむことができるような取り組みについても検討を進めます。		B	A	C	D	『芦屋町商工会』 【実施事業：「筑前あしやはしご酒祭り」の企画】 実施目標：新型コロナウイルスの感染状況や飲食店経営者の方々の意向等を確認した上で、従来開催していた「筑前あしやはしご酒祭り」の開催の有無について検討を図る。 実施結果：【達成状況：C】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施を検討した結果中止となった。				B	
		事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1						
		H30 状況	R1 状況	R2 状況	R3 状況	『産業観光課 商工観光係』 【実施事業：芦屋町空き店舗等活用事業補助金の活用推進】 実施目標：広報やホームページを利用して、空き店舗の情報を収集及び公表し商工会と連携してPRしていく。 実施結果：【達成状況：A】 ・空き店舗バンクについて、ホームページにて公表した。芦屋町空き店舗等活用事業について、芦屋町商工会窓口でのチラシの配架及び相談対応など、連携して活用推進を図った。					
		B:3	A:2 B:1	A:2 C:1	A:2 B:1	【実施事業：芦屋町創業促進支援事業補助金の活用推進】 実施目標：町内での新規創業を促進するため、引き続き芦屋町商工会と連携して「芦屋町創業促進支援事業補助金」の活用推進を図る。 実施結果：【達成状況：A】 ・町内での新規創業を促進するため、芦屋町商工会と連携してチラシ等により「芦屋町創業促進支援事業補助金」の活用推進を図った。					
		事業数 3	事業数 3	事業数 3	事業数 3	【実施事業：さわらフェアの実施】 実施目標：フェアについては、町内店舗に絞り、町民にさわらが提供できるように実施する。 実施結果：【達成状況：A】 ・コロナ禍における取組として、「さわらフェア」を変更して「さわらレシピコンテスト」を実施した。町内飲食店からも12店舗レシピ応募があり、グランプリレシピは町内事業所が獲得した。結果を広報紙、ホームページやフリーペーパーに掲載し、PRを行った。					
						第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ					
					『芦屋町商工会』 【達成状況：C】 H30においては、町内26店舗において「1,000円はしごの旅」を実施し、延べ約600名強を呼ぶことができた。 R1においては、「筑前芦屋はしご酒祭り」を開催し、約400名を呼ぶことができた。 R2においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種イベントの中止を余儀なくされ、活動ができなかった。 R3においても、R2同様新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動ができなかった。 R4においても、R3同様新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動ができなかった。				B		
					『産業観光課 商工観光係』 【達成状況：A】 ・芦屋町商工会と連携して、「芦屋町空き店舗等活用事業補助金」交付に関する事務を遂行した。また、「空き店舗バンク」を令和4年度にホームページにて周知した。今後も更にPRを図る。 ・芦屋町商工会と連携して、「芦屋町創業促進支援事業補助金」事務を遂行し、チラシを作成し活用促進を行った。新規申請もあり、今後も新規創業希望者の相談対応を強化するとともに、おんが創業支援で実施している新規創業セミナー等も活用していく。 ・さわらサミットに伴う町内店舗に向けた経済波及効果を創出する取り組みとして、「さわらフェア」を実施した。また、コロナ禍における取組として「さわらレシピコンテスト」を実施した。						

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

③	施設間連携による町内回遊の仕組みづくり	H30	R1	R2	R3	令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
	所管課・係：芦屋町観光協会	状況	状況	状況	状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
	町内各施設において、町内回遊の案内やパンフレットの相互配置をするなど、各施設の連携を進めます。	A	A	D	B	[実施事業：あしやナビ事業「簡易的な観光案内所の設置」の推進] 実施目標：「簡易的な観光案内所」に登録のある店舗へ春夏秋冬のモデルコース情報の提供を行う 実施結果：【達成状況：B】 あしやナビ協議会委員の意見を基に、春夏秋冬のモデルコースの誌面を作成したが、印刷費が値上がりしており予算の都合上、印刷までは出来なかった。令和5年度に印刷を行い、簡易的な観光案内所の登録店に配布予定。	B	
	事業数1	事業数1	事業数1	事業数1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ	第1期の達成状況	状況	状況が「C」「D」の場合の理由
					・平成29年度から町内の事業所を中心に簡易的な観光案内所としての登録を促した、登録した店舗へは観光案内用として、イベント、町内施設、飲食、宿、土産品情報等を掲載したガイドブックをお渡しした。令和2年度からは新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが中止となったため、ガイドブックの作成は行わなかった。今後は新型コロナウイルス感染症によりイベント実施が事前にわからないものが多いため、ガイドブックを継続して作成するか一考する必要がある。令和3年度にはコロナ禍においても実施できる事業として、あしやナビ協議会がおすすめする春夏秋冬のモデルコースを作成し、WEB上に公開した。 ・令和4年度は、あしやナビ協議会委員の意見を基に、春夏秋冬のモデルコースの誌面を作成したが、印刷費が値上がりしており予算の都合上、印刷までは出来なかった。令和5年度に印刷を行い、簡易的な観光案内所の登録店に配布予定。	B		
芦屋の思い出の品づくり	H30	R1	R2	R3	令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況		
所管課・係：芦屋町観光協会	状況	状況	状況	状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由	
食の特産品だけではなく、芦屋町の地域資源を活用した土産品づくりを実施します。 さらに、観光客の町内回遊に繋がるよう、町内の限られた場所でしか手に入らない土産品等の開発や掘り起しなどを進めます。	A	D	C	A:3	[実施事業：芦屋町オールロケ映画を活用した町内回遊事業] 実施目標：当事業キャンペーン申し込み者数300名を目標数値とする 実施結果：【達成状況：B】 ・スタンプを集めた参加者には、抽選で芦屋町ブランド認定品が当たるキャンペーンを実施。 ・目標数値には達しなかったが、約100名の申込者数となり、抽選で芦屋町ブランド認定品を賞品として送付した。 [実施事業：あしやナビ事業「観光モデルコース」の作成] 実施目標：「簡易的な観光案内所」に登録のある店舗へ春夏秋冬のモデルコース情報の提供を行う 実施結果：【達成状況：B】 あしやナビ協議会委員の意見を基に、春夏秋冬のモデルコースの誌面を作成したが、印刷費が値上がりしており予算の都合上、印刷までは出来なかった。令和5年度に印刷を行い、簡易的な観光案内所の登録店に配布予定。 [実施事業：芦屋釜の里と連携した体験プログラムの創出] 実施目標：芦屋釜の里と連携した体験プログラムの利用者増を図る 実施結果：【達成状況：A】 ・芦屋釜を拠点とした体験プログラムである「特別な日の撮影」を昨年度に引き続き実施した。	B		

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

④	事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 3	<p style="text-align: center;">第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芦屋町映画を活用したスタンプラリー事業を令和4年度より実施、スタンプを集めた参加者には、抽選で芦屋町ブランド認定品が当たるキャンペーンを実施。約100名の申込者数となった。 ・あしやナビ協議会にて春夏秋冬のモデルコースを作成した。今後は作成したモデルコースをどのように周知させるかが課題である。・令和4年度は、あしやナビ協議会委員の意見を基に、春夏秋冬のモデルコースの誌面を作成したが、印刷費が値上がりしており予算の都合上、印刷までは出来なかった。令和5年度に印刷を行い、簡易的な観光案内所の登録店に配布予定。 ・芦屋釜を知るきっかけとして、芦屋釜の里を活用した特別な思い出、記念に残る体験型プログラムを作成した。撮影プランの中には、芦屋町商工会の商品券を付けたことで、町内を周遊するきっかけを作ることができた。 ・情報発信としては、主にあしや体験隊ホームページ、あしや体験隊インスタグラムで発信を行っているが、申込数が少ないことからPR不足であると考え。今後はターゲットを絞った情報発信と広域でのPR方法を検討していく必要がある。 ・参加者からの要望として撮影後にお祝い膳を提供してくれる場所や、芦屋町で食事をする場所を知りたい等の声があるため、町内事業者と連携したオプションプランも今後検討していく必要がある。 ・筑前芦屋だごびーなとわら馬まつりを町内主要施設に展示し、伝統行事のPRを実施した ・筑前芦屋だごびーなとわら馬まつり実行委員会と都市整備課と協力して八潮の馬の描かれたマンホール蓋が描かれたカードの申請を行い、マンホールカードを作成した。 	第1期の達成状況	
						状況	状況が「C」「D」の場合の理由
						B	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

(2) 水辺の空間を活かした魅力づくり

No.	展開する取り組み項目	年度				令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2	R3		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	事業概要							
	海岸線や河川を活かした魅力の創出	状況	状況	状況	状況	『芦屋港活性化推進室』 【実施事業：管理運営組織の形成】 実施目標：事業全体のコンセプトを決めたいうで、管理運営組織の設立に向けた検討を行うことを目標に事業を進める。 実施結果：【達成状況：A】 事業全体のコンセプトを芦屋港活性化推進委員会で検討し、施設管理運営組織として、観光地域づくりの舵取り役としての機能を持ち、自ら事業を実施することができる観光DMOとする方向性を決めた。	B	
	所管課・係：芦屋港活性化推進室、環境住宅課 環境・公園、芦屋町商工会	A	A:2 B:1 D:1	A:3 B:2	A:1 B:3	【実施事業：外部人材の登用】 実施目標：管理運営組織形成事業において求められる人物像を検討し、民間事業者からの派遣を優先として、人材を登用することを目標に事業を進める。 実施結果：【達成状況：A】 総務省地域活性化起業人制度により1名、一般公募により1名、外部アドバイザー2名（うち、総務省地域力創造アドバイザー制度により1名）の外部人材登用を行った。		
	海岸線や河川などの水辺は芦屋町の誇れる観光資源の一つです。自然のもつ憩いと安らぎの空間を活かしたレクリエーションや自然体験活動などの実施について検討します。 また、芦屋港の有効活用について、関係機関と協議を重ねながら検討を進めていきます。	事業数 1	事業数 4	事業数 5	事業数 4	【実施事業：既存港湾施設（1号上屋）の利活用】 実施目標：福岡県との協議調整を行い、既存港湾施設（1号上屋）の整備方針を定めることを目標に事業を進める。 実施結果：【達成状況：C】 既存港湾施設（1号上屋）に関する福岡県との協議が整わなかったため、整備方針を定めることはできなかった。 【実施事業：砂像屋内展示施設及び周辺の整備】 実施目標：砂像屋内展示施設及び広場、駐車場の整備に向けた地質調査や測量、基本設計を実施することを目標に事業を進める。 実施結果：【達成状況：A】 設計受託業者を決定し、砂像屋内展示施設整備に向け、設計を実施している。また、施設及び広場、駐車場整備に向けた地質調査や測量を行った。 【実施事業：機運醸成事業】 実施目標：人材の発掘・育成に向けたワークショップの開催、芦屋港を中心とした着地型観光実現に向けたテストマーケティングや情報発信を目標に事業を進める。 実施結果：【達成状況：A】 人材の発掘・育成に向けたワークショップを開催し、町内回遊を調査するテストマーケティングを実施した。Instagramの開設を行い、情報発信を実施した。		
	H30 状況	R1 状況	R2 状況	R3 状況	『環境住宅課 環境・公園係』 実施事業：ラブアース・クリーンアップや町内一斉清掃の実施 実施目標：ラブアース・クリーンアップの実施 6月中旬 町内一斉清掃の実施 9月中旬 実施結果：【達成状況：A】 ラブアース・クリーンアップをR4.6.14に、町内一斉清掃をR4.9.25に実施した。			
	A	A	D	C				
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1				

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

	H30	R1	R2	R3	『芦屋町商工会』 【実施事業：「ファミリーフィッシングin芦屋」開催】 実施目標：平成26年度から、商工会青年部主催（協力・協賛 遠賀漁協芦屋支所、（公財）日本釣振興会福岡県支部等）により実施している「ファミリーフィッシング in 芦屋」を今年度も6月（海）に開催する。 実施結果：【達成状況：D】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。		
	状況	状況	状況	状況			
	A	D	C	C			
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1			
					第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ	第1期の達成状況	
					『芦屋港活性化推進室』 【達成状況：A】 ・平成30年に芦屋港活性化推進室を新設し、芦屋港の有効活用について関係者で協議を重ね、芦屋港活性化基本計画を策定した。 ・平成31年に国土交通省より「釣り文化振興モデル港」に指定された。 ・令和2年に福岡県と管理運営に関する基本協定を締結し、芦屋港港湾計画の改訂（一部変更）が行われた。また、福岡県にて社会資本総合整備交付金を活用した5ヵ年事業として、ボートパーク、海釣施設の整備が開始された。 ・令和3年度に、芦屋町にて管理運営方法、官民連携事業（上屋複合施設民間活力導入）、全天候型施設活用方法について調査検討により考え方を取りまとめた。さらに、機運醸成事業や芦屋町観光動向調査を実施することで、海岸線や河川を活かした魅力の創出として芦屋港活性化事業の推進に繋がっている。 ・令和4年度に、管理運営組織の形成、外部人材の登用、砂像屋内展示施設及び周辺の整備、機運醸成事業は計画どおり実施できている。 『環境住宅課 環境・公園係』 【達成状況：B】 『環境住宅課 環境・公園係』 ・ラプアース・クリーンアップや町内一斉清掃の実施 令和2・3年度については、コロナウイルス蔓延のため、事業を実施できなかった。 『芦屋町商工会』 【達成状況：C】 H30においては、青年部主催の「ファミリーフィッシングin芦屋」を開催し、72組103人参加。 R1は芦屋港湾が使用できなかった為、実施ができなかった。 R2とR3は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業を中止した。 R4も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業を中止した。	状況	状況が「C」「D」の場合の理由
						B	
釣り人にやさしい町、あしやの創出	H30	R1	R2	R3	令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
所管課・係：芦屋町商工会	状況	状況	状況	状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
芦屋町には年間を通して多くの釣り人が訪れるため、漁協との調整を図りながら、釣り場の整備や情報提供を行い、釣り人の満足度向上を図ります。 一方で、禁止区域での釣りやゴミの放置などが問題となっていることから、釣り人のマナー向上に関する取り組みも併せて行います。	A	A	C	D	【実施事業：「ファミリーフィッシング inアクアシアン」の開催検討】 実施目標：新型コロナウイルスの感染状況等を注視しながら、上記イベントも含め、今後のイベント開催の有無について検討を図る。 【達成状況：A】 実施結果： 芦屋町商工会青年部にて下記2回開催した。 【第1回】日時：令和4年11月27日 【第2回】日時：令和5年3月19日	A	
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ	第1期の達成状況	
					H30ならびにR1においては、青年部主催の「ファミリーフィッシングin芦屋」ならびに「ファミリーフィッシングinアクアシアン」の各2回開催する事ができ、参加者の評価もよく、初心者でも楽しく参加する事ができており、目的を達成できたと思われる。ただし、R2、R3においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止によるイベント中止により開催できなかった事が惜まれる。 R4においては、規模を縮小したものの、2回開催する事ができた。	状況	状況が「C」「D」の場合の理由
						B	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)

C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

(3) 体験型観光の推進

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度				令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2	R3		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	体験型観光商品の資源・人材の発掘 所管課・係：芦屋町観光協会	状況	状況	状況	状況	[実施事業：魅力ある体験型プログラムの創出と実施者の発掘] 実施目標：令和3年度に引き続き、体験型プログラムを事業所へ提案し試験的に実施してもらう。 実施結果：町内外問わず芦屋町で実施する体験プログラムを募集し、令和5年度に実施するプログラムを作成することができた。	A	
	芦屋町の魅力ある体験資源や実践する人を発掘し、体験型観光商品として提供できるよう推進していきます。また、既に実施している生涯学習講座「あしや塾」のメニューとして組み込むなどの共同実施についても検討していきます。	A:2	A:2	D	A			
		事業数 2	事業数 2	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ	第1期の達成状況	
		状況	状況	状況	状況	遠賀中間広域連携プロジェクトとして一市四町の体験型プログラムを作成する「水辺のくに博覧会」が開催され、その中で事業者向けのワークショップが開催となり、新しい体験型プログラムが創出されていたが、コロナ禍により事業が中止となり事業者が体験型プログラムを考える場がなくなった。また、体験プログラム実践者である町内事業者もコロナ禍により自粛したため、新たな体験型プログラムの創出が困難であった。今後は町内事業者を中心にヒアリングを行い、実施可能なものについてはあしや体験隊へ掲載を行う。町内外問わず芦屋町で実施する体験プログラムを募集し、令和5年度に実施するプログラムを作成することができた。	A	
②	体験型観光商品の創出及び販路の拡大 所管課・係：芦屋町観光協会	H30	R1	R2	R3	[実施事業：魅力ある体験型プログラムの創出と実施者の発掘] 実施目標： ・事業者と連携した体験プログラムの創出 ・令和5年度実施の体験型プログラムを取りまとめた冊子を作成する 実施結果：町内外問わず芦屋町で実施する体験プログラムを募集し、令和5年度に実施するプログラムを作成することができた。	A	
	企画した体験型観光商品を、教育旅行や一般旅行、日帰り観光などの用途に合わせて商品化し、旅行会社への営業、町内各施設での案内・情報発信を行い、販路を開拓します。また、芦屋町の体験博覧会などのイベントも検討していきます。	A:2	A:2	D	A			
		事業数 2	事業数 2	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ	第1期の達成状況	
		状況	状況	状況	状況	・例年、遠賀中間広域連携プロジェクトとして一市四町の体験型プログラムを作成する「水辺のくに博覧会」が開催されていたが、コロナ禍により令和2年度から事業が中止となったため、広域でのPRができなくなった。現在は、あしや体験隊ホームページ、インスタグラムによる周知、町内各所に簡易ポスターを掲示しPRをしているが、参加申し込みが少ないのが現状である。今後はターゲットを絞った情報発信と広域でのPR方法を検討していく必要がある。 令和4年度に町内外問わず芦屋町で実施する体験プログラムを募集し、令和5年度に実施するプログラムを作成することができた。	A	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)

C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

(4) 既存観光施設の整備・活用

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度				令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2	R3		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	芦屋海浜公園の整備 所管課・係：産業観光課 商工観光係 芦屋海浜公園の魅力をさらに高めるため、芝生広場における遊具等の整備・拡充などを行っていきます。	状況	状況	状況	状況	[実施事業：遊具等の整備] 実施目標：必要に応じて、遊具の改修や新設を行う。 実施結果： ・計画通りに「芦屋海浜公園長寿命化計画」を実施、及び遊具の改修等の実施を行った。 ・日陰確保のため、パーゴラを設置した。	A	
		A:2 C:1	A:2	A:2	A			
	事業数 2	事業数 2	事業数 2	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ		第1期の達成状況	
						・必要に応じて遊具の改修を随時行い利用者の安全性に努めた。 ・令和2年度に策定した「芦屋海浜公園長寿命化計画」を、計画通りに実施していく。	A	
②	夏井ヶ浜はまゆう公園の整備 所管課・係：産業観光課 商工観光係 集客の増加を図るため、現在参画している「恋人の聖地プロジェクト」の効果的な活用（ロゴの使用、広報の際の使用の徹底、グッズの開発販売等）に努めます。 また、風光明媚な景色を引き立てるような夜間照明の設置など、従来の芦屋にない観光スポットとしての魅力形成を図ります。	状況	状況	状況	状況	[実施事業：適正な管理及び効率的な整備] 実施目標：必要に応じて整備を実施していく。 実施結果： ・計画通り景観地清掃で草刈りを実施。 ・自販機での愛鍵販売を実施（令和4年度323個：290,700円） ・公園利用許可申請受付にて公園利用を適切に実施した。	A	
		A:2	A:2	A	A			
	事業数 2	事業数 2	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ		第1期の達成状況	
						・平成28年度に、敷地を拡大（釜風呂跡地）し展望台及び夜間ライトアップ施設の整備を完了した。 ・平成29年度に、恋人の聖地モニュメント及び愛鍵を設置完了した。 ・必要に応じて樹木剪定等の実施、効率的な整備を検討実施した。	A	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)

C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

城山公園の整備		H30	R1	R2	R3	令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
所管課・係：産業観光課 商工観光係		状況	状況	状況	状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
③	城山公園については、古くから花見の名所として利用されてきましたが、現在の広場や散策路、フェンス等は整備が不十分で、危険な箇所も見られます。 観光公園としての今後の方向性及び必要性について検討します。	D	B	A	B	[実施事業：適正な管理及び効率的な整備] 実施目標：樹木剪定等を実施し維持管理を行う。 現状の状況把握のため法面工事等調査を実施し、必要時対策の検討を行う。 実施結果： ・樹木剪定等を行い、景観の保持を行った。 ・法面調査を実施した。その結果、令和5年度法面整備実施設計委託を実施することとなった。	A	
		事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ	第1期の達成状況	
						・令和元年度に公園全体の整備を検討したが、必要性や費用面等から、全体整備ではなく樹木剪定等を必要に応じて実施していくこととなり、樹木剪定等を行い景観保持を図った。 ・令和3年度、唐戸交差点側法面保護工事を行った。現状の状況把握のため、令和4年度に法面調査を実施し、令和5年度法面整備実施設計委託を実施することとなった。		B
④	魚見公園から梅林公園にかけては高台に位置しており、そこからの眺望や園内の四季折々の花々は魅力的な観光資源です。訪れた人々がゆっくりと安全に園内を見て回れるよう展望所や散策道を整備し、自然公園として観光客の増加を図ります。	A	A	A	A	[実施事業：適正な管理及び効率的な整備] 実施目標：樹木剪定等を実施し景観を保つ。 公園整備について、基本及び実施設計を計画通り行う。 実施結果： ・樹木剪定等を行い、景観の保持を行った。 ・基本及び実施設計の内容の検討を進めた。	A	
		事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ	第1期の達成状況	
						・平成30年度、魚見公園に、園路改修・転落防止柵を設置した。 ・令和元年度、梅林公園に、安全対策のため崩落防止工事を実施した。 ・樹木剪定等を行い、景観保持を図った。 ・令和3年度、整備基本計画の策定、法面保護工事を行った。今後の公園整備については、基本及び実施設計を計画通りに行う。		A

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

	レジャープールアクアシアン 所管課・係：産業観光課 商工観光係	H30	R1	R2	R3	令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
		状況	状況	状況	状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
⑤	海水浴シーズンには毎年多くの観光客が訪れるレジャープールアクアシアンも、建設当初から10数年が経過しており、老朽化が進んでいます。今後は、費用対効果を検証しながら、計画的な維持補修に努めます。	B:1 C:1	A:2	A:2	A	[実施事業：設備・施設の改修] 実施目標：必要に応じて改修等を実施する。 また、社会資本整備総合交付金を活用した整備事業を、計画通りに実施する。 実施結果： ・芦屋海浜公園長寿命化計画に基づいた整備事業を、計画通りに実施した。 ・必要に応じて改修等を実施した。	A	
		事業数 2	事業数 2	事業数 2	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ ・施設、設備の改修を適宜実施した。 平成30年度に流水プール設備改修工事を実施した。 令和元年度に管理棟部分改修工事を実施した。 令和2年度に流水プール起流ポンプ取替、流水プール自動塩素投入装置取替を実施した。 ・令和2年度、「芦屋海浜公園長寿命化計画」を策定した。 ・令和4年度は、「芦屋海浜公園長寿命化計画」に基づいたレジャープール改修工事実施設計委託を実施した。	第1期の達成状況 状況 状況が「C」「D」の場合の理由	A
⑥	国民宿舎マリンテラスあしや 所管課・係：産業観光課 商工観光係 国民宿舎マリンテラスあしやは、町の観光客誘致の拠点の一つです。計画的な施設の整備により快適な宿泊環境を提供し、民間の手法を取り入れたサービスでおもてなしを行います。 訪れた観光客に満足していただくことで、リピーターの増加を図っていきます。	A	A:2	A	A	[実施事業：設備・施設の改修] 実施目標：令和4年度は施設の大規模改修予定なし。引き続き、令和元年度に策定した「国民宿舎マリンテラスあしや長寿命化計画」に基づき適正な管理を行う。 実施結果： ・「国民宿舎マリンテラスあしや長寿命化計画」に基づき適正な管理を行った。	A	
		事業数 1	事業数 2	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ ・施設の整備・活用のため、改修を適宜実施した。 ・令和元年度に策定した「国民宿舎マリンテラスあしや長寿命化計画」に基づき、引き続き適正な管理を行う。	第1期の達成状況 状況 状況が「C」「D」の場合の理由	A

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

	H30	R1	R2	R3	令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
						状況	状況が「C」「D」の場合の理由
⑦ 洞山・堂山 所管課・係：産業観光課 農林水産係 名勝奇岩を形成し、古くから芦屋町のシンボルとなっている洞山・堂山は一部崩落が進んでおり、保存活動を行っています。洞山・堂山と柏原漁港をあわせたこの一帯は海洋性レクリエーションエリアと漁業エリアに区分し、観光客にとって更なる利便性の向上を図っていきます。	完了	完了	完了	完了	完了 (整備終了)	—	
	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ					第1期の達成状況	
	[洞山・堂山崩落防止工事] 【達成状況：A】 平成27～28年度に福岡県営治山事業を活用し、洞山・堂山の崩落防止工事を実施した。 [柏原漁港周辺産業・観光整備事業] 【達成状況：A】 平成27年度に漁協エリアと海洋性レクリエーションエリアに区分する柏原漁港周辺産業・観光整備工事（フェンス設置等）を実施した。					A	
⑧ はまゆう群生地 所管課・係：芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係 町を代表する景観地「夏井ヶ浜」には、町花はまゆうが群生しており、開花シーズンには毎年多くの観光客が訪れます。この群生地は、九州における自生の北限として県の天然記念物に指定され、文化的価値も高いことから、計画的な保護・保存に努めていきます。また、周辺には町の遊休地も存在することから、これらの有効活用を図るため、夏井ヶ浜観光エリアとして一体的な整備を図ります。	A	A	A	A	[実施事業：夏井ヶ浜のはまゆう自生地保護のための管理] 実施目標：夏井ヶ浜のはまゆう自生地の保存のため、専門業者へ委託し、草刈りや消毒等を適宜行う。また、職員による巡回を随時行い、保護に努める。 実施結果： 夏井ヶ浜のはまゆう自生地保護のため、専門業者へ草刈りや消毒等を委託し、実施した。	A	
	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ					第1期の達成状況	
	・県の天然記念物に指定されてる「はまゆう自生地」の保全について、専門業者による管理や職員の巡回など、自生地の保全に関し適切な管理を行うことができた。					A	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

基本戦略5：観光まちづくりを担う人材と組織づくり

(1) 観光まちづくりを担う組織の強化及び連携

No.	展開する取り組み項目	年度				令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2	R3		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	事業概要 観光まちづくりを推進する主体の構築 所管課・係：産業観光課 商工観光係	B	A	A	A	[実施事業：観光あしや協議会の推進] 実施目標：令和4年度のブランド認定を実施する。認定されたブランド認定品の販路拡大を行う。 実施結果： ・観光あしや協議会にて令和4年度のブランド認定を実施し、金賞選定を行った。 ・航空祭や県庁ロービー展等のイベント出展時にブランド認定品のPR及び販売を行った。 ・ブランド認定品業者へ、認定品の販売が出来るイベントの情報提供を行った。	A	
	事業数 1					事業数 1	事業数 1	事業数 1
						第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ ・平成29年度に、「観光まちづくり推進プロジェクト」を再構築した「観光あしや協議会」を設立した。全体会にて観光基本構想を推進し、実行部会にて観光基本構想のリーディングプロジェクトを検討・実施した。全体会議ではインバウンド対策に関する協議、実行部会ではブランド認定制度及び情報発信について協議を行った。 ・令和元年に部会の見直しを行い、全体会・役員会・国内外交流部会・芦屋産品振興部会とし、事業を実施した。 ・令和4年度に第2期芦屋町観光基本構想を策定するため芦屋町観光基本構想推進委員会を設置し、計画の策定及び評価等を実施していく。	A	
②	「観光まちづくり推進」についての評価及び改善の場の創出 所管課・係：産業観光課 商工観光係	A	A	A	A	[実施事業：観光基本構想の評価の実施] 実施目標：次期観光基本構想策定を実施するため、構想策定事業内にて評価を実施する。 実施結果：計画通り、構想策定事業内にて評価を実施した。	A	
	事業数 1					事業数 1	事業数 1	事業数 1
						第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ ・平成29年度に、「観光まちづくり推進プロジェクト」を再構築した「観光あしや協議会」を設立した。平成30年度に、観光あしや協議会評価部会による観光基本構想の評価制度を構築し、各事業の検証を行うこととした。 ・事業評価及び事業の洗い出しを実施し、構築した評価制度を活用した。 ・令和4年度に第2期芦屋町観光基本構想を策定するため芦屋町観光基本構想推進委員会を設置し、計画の策定及び評価等を実施していく。	A	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

(2) 住民のおもてなし意識の向上・活動団体の共同

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度				令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2	R3		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	住民のおもてなし意識の向上 所管課・係：産業観光課 商工観光係 住民のおもてなし意識向上を図るため、先進地視察や研修などの実施、また意識啓発のための刊行物配布やセミナーの開催などについて検討します。	状況	状況	状況	状況	[実施事業：先進地視察及び研修の検討・実施] 実施目標：住民のおもてなし意識向上を図るための研修を検討、実施する。 実施結果：次期観光基本構想策定時に住民ワークショップを開催し、勉強会等を実施し参加者の観光まちづくりへの理解と参画を促すとともに、住民・事業者目線で観光施策を検討した。	A	
		A	B	C	C			
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ		第1期の達成状況	状況 状況が「C」「D」の場合の理由
						・各協議会や観光協会と協議を実施、また、平成30年度に観光ガイドの先進地視察研修を実施した。 ・あしやナビガイドブックを掲載している事業所へガイドブックを配布し、観光客からの問い合わせに事業所にも対応してもらえるようにした。実際に観光客からの問い合わせに対応している事業所も出てきている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で事業所や住民への研修が実施できていないため、効果的な方法を検討し実施していく。 ・次期観光基本構想策定時に、住民ワークショップを開催し勉強会等を実施した。	B	
②	活動団体の共同を推進 所管課・係：産業観光課 商工観光係 町内では、各種ボランティア団体や同好会による活動、スポーツ団体による競技会・イベントなどの催しが数多く実施されています。このような団体との連携や団体間における共同の可能性について探り、観光での活用を検討していきます。	状況	状況	状況	状況	[実施事業：「砂像展」及び鯨に関するイベントでの協働] 実施目標：砂像展において、各種団体への砂像制作を依頼していく。 実施結果： ・八幡中央高校、北筑高校が国内交流ゾーンにおいて新たに砂像制作を行った。	A	
		B	B	D	C			
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ		第1期の達成状況	状況 状況が「C」「D」の場合の理由
						・「砂像展」及び「さわらサミット」において各種団体との協働に取り組んだ。 ・「砂像展」は砂像制作及び海外彫刻家の通訳協力との協働を行った。 ・「さわらサミット」はイベント時の出店協力を行った。今後については、イベントの実施状況により協働内容の検討が必要である。	B	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)

C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

基本戦略6：効果的な情報発信の実施

(1) 親しみやすいイメージ。わかりやすい案内の整備

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度				令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2	R3		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	観光キャッチフレーズ・ロゴ・キャラクターの設定と、それを活用した案内・サインの整備 所管課・係：産業観光課 商工観光係 芦屋町観光のイメージを表現する親しみやすいキャッチフレーズや、ロゴ、キャラクターを作成し、各種広報において発信していきます。また、これらを活用し、観光客にとってわかりやすい情報案内板やサイン等の整備を進めていきます。	状況	状況	状況	状況	[実施事業：観光案内板等へのアッシーの活用検討・実施] 実施目標：案内看板更新のタイミングについて情報収集し、内容整理をおこなう。 実施結果： ・芦屋港レジャー港化に係る案内看板の内容更新について、情報収集を行った。 ・洞山の入口に、アッシーを活用した洞山案内看板を設置した。	A	
		事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ	第1期の達成状況	
						・魚見公園及び狩尾岬周辺等の観光案内板を「アッシー」を活用したものにリニューアルした。 ・庁舎前の既存の観光案内看板を最新の情報に更新し、2次元コードをつけて利便性の向上を図った。 ・芦屋港レジャー港化の整備の実施状況により、再度内容を更新する必要がある。案内看板のタイミングについて情報収集し、内容整理を行う。 ・洞山の入口に、アッシーを活用した洞山案内看板を設置した。	B	状況が「C」「D」の場合の理由
②	観光案内機能の強化 所管課・係：産業観光課 商工観光係 「あしやまの駅」などと連携することで、町内に気軽に立ち寄れる観光案内の場所を増やし、観光客にとって優しい町を目指していきます。また、既存の「あしやまの駅」のさらなる活用を図っていきます。	H30	R1	R2	R3	令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
		状況	状況	状況	状況	[実施事業：観光案内所設置] 実施目標：砂像展では、観光案内マップを観光協会と協力し掲示等を行う。 実施結果：【達成状況：A】 ・砂像展の入り口に観光案内板を設置し、芦屋町内の飲食店情報を掲載した。	B	状況が「C」「D」の場合の理由
		A:1 B:1	B:2	D:2	B:1 C:1	[実施事業：あしやナビガイドブックの更新・配布] 実施目標：新型コロナウイルス感染症の今後の収束状況をみながら、引き続き、あしやナビガイドブックを更新して活用する。概要版については、費用対効果を十分検証し、必要性があると判断した場合は作成・配布することとする。 実施結果：【達成状況：B】 ・観光協会において、新たな「ガイドブック」作成について、あしやナビ協議会会長と検討を行ったが、費用及びスケジュールの面で実現しなかった。現在設置している「あしやナビガイドブック」を引き続き設置し、QRコードを活用しホームページへ誘導している。		
		事業数 2	事業数 2	事業数 2	事業数 2	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ	第1期の達成状況	
					・平成27年に「あしやまの駅」から「あしやナビ協議会」に変更となり、観光基本構想の取り組みを継続していくこととなった。 ・観光案内所設置について、あしやナビ協議会（事務局は観光協会）にて必要に応じて仮設の観光案内所を設置し、観光PRを行った。新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等が中止となった際は実施できなかったため、状況に応じて対応していく必要があり、今後の課題となっている。 ・平成29年度にあしやナビ協議会にて「あしやナビガイドブック」を作成し毎年更新を行なった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により協議会の開催ができず更新ができなかった際は、引き続きの使用となった。事業の実施は、新型コロナウイルス感染症の収束状況をみながら検討を行い、実施する際は概要版の必要性・活用方法等について、費用面も含めて検討していく必要がある。	B	状況が「C」「D」の場合の理由	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

(2) 町の知名度の向上

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度				令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2	R3		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	雑誌、新聞、テレビ等を活用した戦略的な観光情報の発信 所管課・係：産業観光課 商工観光係 芦屋町の知名度向上を図るため、北九州市や福岡市などの情報誌や新聞等のメディアを中心に、情報発信を積極的に行い、地域のイベントや地域商品PRなどを進めていきます。	状況	状況	状況	状況	[実施事業：テレビを活用したPR] 実施目標：各観光協議会での協議結果に基づいてテレビ等を活用した観光PRを実施する。 実施結果： ・北九州地区観光協議会で観光PRを実施した。 番組：RKB「日曜もシエスタ」 取材対象：国民宿舎マリンテラスあしや 放送日：11月13日（日） ・筑前玄海地域観光推進協議会で観光PRを実施した。 情報誌「シティ情報ふくおか」4月号（令和5年3月28日発売）に掲載。また、記事を抜粋し雑誌を作成。 合わせてシティ情報ふくおかでのSNS発信をおこなった。 紹介：ottimo、芦屋釜の里、国民宿舎マリンテラスあしや、岡湊神社 ・あしや砂像展、さわらレシビコンテスト、チャレンジショップについて、雑誌、新聞及びテレビ等でPR・情報発信を行った。	A	
		事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ	第1期の達成状況	
						・北九州地区観光協議会、筑前玄海地域観光推進協議会内での事業において、テレビやSNS、情報誌等を活用して情報発信を行い、PR活動を行った。 ・情報誌、インターネットサイト等への観光情報やイベントPRの掲載を行った。	A	
②	インターネット等を活用した情報の拡充及び連携 所管課・係：企画政策課 地方創生推進係 観光協会や町ホームページ等での情報の充実、タイムリーな情報の発信を実施して、ホームページのアクセス向上と観光客の増加を図ります。また、近年普及しているフェイスブックやツイッターなどのソーシャルメディア（SNS）を活用した発信も実施し、双方でのコミュニケーションの実施を図っていきます。	状況	状況	状況	状況	[実施事業：戦略的情報発信プロジェクト] 実施目標：引き続き、地域おこし協力隊と協力し、計画的なSNS投稿を行う。 また、SNS同士の連携にも力を入れ、効果的にフォロワーを増やす。 さらに、各SNSとシティプロモーションサイトを連動させ、外部へのPR効果を高める。 実施結果： アッシー公式SNS、インスタ、フェイスブックにより砂像展などのイベント情報の発信を行った。各SNSとシティプロモーションサイトとの連動は令和4年度ではできなかった。	B	地域おこし協力隊の方が退任にしたこともあり、SNSの投稿が計画的にできなかった。また、シティプロモーションサイトの公開が令和5年4月になったため、令和4年度では各SNSとの連動ができなかった。
		事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ	第1期の達成状況	
						・地方創生加速化交付金を活用し、平成28年度に芦屋町観光情報サイトを構築した。 ・芦屋町公式SNSとして、平成27年度にアッシーフェイスブック、平成28年度にアッシーインスタグラムを開設した。 ・地域おこし協力隊（1期：平成28年度～30年度（2人））・（2期：令和3年度～令和4年度8月（1人））と連携し、効果的な情報発信に努めた。 ・令和2年度から3年度については、新型コロナの影響によりイベントが実施できなかったこともあり、効果的な情報発信が行えなかった。 ・令和4年度は各SNSとシティプロモーションサイトの連動ができなかった。	B	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

③	新たな情報発信の仕掛けづくり	H30	R1	R2	R3	令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況
	所管課・係：企画政策課 地方創生推進係	状況	状況	状況	状況		状況 状況が「C」「D」の場合の理由
	北九州フィルムコミッションとの連携を検討し、映画やドラマのロケーションの舞台となるよう、誘致や受入を推進するなど、新たな情報発信の仕掛けづくりを検討し、芦屋町の知名度の向上を図ります。	B	C	B	C	[実施事業：芦屋町ふるさと観光大使と連携した情報発信] 実施目標：芦屋町ふるさと観光大使と連携し、SNS等を中心とした情報発信を行うことで、町の知名度向上を図る 実施結果： 令和4年4月に芦屋町ふるさと観光大使として就任したコンバット満氏と定期的に観光スポット等で撮影を行い、一万を超えるフォロワーを持つコンバット満氏のSNS（Instagram）にて13回情報発信を行った。	A
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ	第1期の達成状況	
					・北九州フィルムコミッションとの連携は検討したが、実現していない。 ・地域おこし協力隊の尽力により、芦屋町をロケ地とした映画を誘致できた。「夏の夜空と秋の夕日と冬の朝と春の風」は、平成30年度に撮影を行い、令和元年度に全国公開され、芦屋町の知名度の向上に寄与したと考えている。 ・令和4年度は芦屋町ふるさと観光大使と定期的に観光スポット等で撮影し、SNSにて情報発信を行った。	B	状況 状況が「C」「D」の場合の理由
④	ボートレース芦屋を活用した情報発信戦略	H30	R1	R2	R3	令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況
	所管課・係：ボートレース事業局 企画課企画宣伝係	状況	状況	状況	状況		状況 状況が「C」「D」の場合の理由
	町外から多くの来場者が訪れるボートレース芦屋を活用し、芦屋町の観光情報を発信するなど、観光PRの場としての活用を検討します。	A	B	B	A	[実施事業：ボートレース芦屋を活用した情報発信戦略] 実施目標： ・モーヴィ芦屋を活用した町内誘客の取り組み実施 ・各種キャンペーンにおける特産品PRの実施 ・YouTube配信における観光PRの実施 実施目標結果： ・モーヴィ芦屋受付前に常設で町内PRブース及びデジタルサイネージを設け、観光案内情報冊子や町内施設リーフレット等の配架、PR動画の放映を行い町内誘客を図った。 ・芦屋砂像展期間中に出張モーヴィを実施し、モーヴィ利用客に砂像展入場チケットをプレゼントすることで、町内イベントへの集客を図った。（モーヴィからの芦屋砂像展への来場446名） ・場内ガラポン抽選会、Twitterキャンペーン等で特産品を賞品とすることで魅力発信を行った。 ・YouTube予想生配信の中で町内紹介等の観光PRを行った。また、芦屋町ふるさと観光大使であるコンバット満氏にYouTube出演（年23回）いただくことで、定期的に芦屋町の紹介を行うことができた。【YouTube登録者数：2.76万人（3/31時点）】	A
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ	第1期の達成状況	
					・令和2年度よりモーヴィ芦屋付近で芦屋町PRブースを設置することで、町内周遊を図った。（芦屋町観光情報冊子、マリンテラスあしや・芦屋釜の里冊子、芦屋町海浜公園チラシ等） ・各種キャンペーン（Twitterキャンペーン、場内抽選会等）にて、特産品を賞品とすることで魅力発信を行った。	A	状況 状況が「C」「D」の場合の理由

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

基本戦略7：他地域との連携

(1) 近隣市町村との広域観光の更なる強化

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度				令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2	R3		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	筑前玄海地区での連携強化 所管課・係：産業観光課 商工観光係 芦屋町、岡垣町、宗像市、福津市、古賀市等で連携実施している「玄海地区観光推進協議会」での連携を強化し、各市町村間における周遊のさらなる促進を図ります。	A:1 B:1	A:2	A:1 D:1	A	事業数：1（事業を統合した） [実施事業：筑前玄海地区観光推進協議会での連携による観光PR] [実施目標：新型コロナウイルス感染症の今後の収束状況をみながら、観光PRの方法等を協議会において協議し実施する。] 実施結果： 筑前玄海地区観光推進協議会において、情報誌「シティ情報ふくおか」4月号（令和5年3月28日発売）に掲載。また、記事を抜粋し雑誌を作成。合わせてシティ情報ふくおかでのSNS発信をおこなった。 紹介：ottimo、芦屋釜の里、国民宿舎マリンテラスあしや、岡湊神社	A	
		事業数 2	事業数 2	事業数 2	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ	第1期の達成状況	
						・[周遊マップの周知・活用]と[PRイベントの実施]の2つの事業を実施したが、令和3年度から統合して[筑前玄海地区観光推進協議会での連携による観光PR]を実施した。 ・筑前玄海地域観光推進協議会において作成した「ご朱印で巡る筑前玄海エリアゆる旅ガイド」を活用するとともに、筑前玄海地区外のイベントに参加することで観光PRを行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響でイベント参加等ができなかった際は、協議会にてオンラインツアーを計画・実施を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の今後の収束状況をみながら、観光PRの方法等を協議会において協議し実施する。	A	
②	北九州地区での連携強化 所管課・係：産業観光課 商工観光係 芦屋町、北九州市、中間市、行橋市、みやこ町、岡垣町、豊前市、苅田町、築上町等で連携実施している「北九州地区観光協議会」での連携を強化し、各市町村間における周遊のさらなる促進を図ります。	A	A	A	A	[実施事業：北九州地区観光協議会での連携による観光PR] [実施目標：北九州地区観光協議会での協議結果に基づいてテレビ等を活用した観光PRを実施する。] 実施結果： ・北九州地区観光協議会で観光PRを実施した。 番組：RKB「日曜もシエスタ」 取材対象：国民宿舎マリンテラスあしや 放送日：11月13日（日）	A	
		事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ	第1期の達成状況	
						・北九州地区観光協議会での協議結果に基づいて、テレビを活用した観光PRを実施した。 ・取材対象となった店では、テレビ出演後には来客数増加となる等、一定の効果がみられた。	A	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

(2) 芦屋町にまつわる都市との交流

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度				令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2	R3		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	芦屋町にゆかりの地域との連携・交流の推進 所管課・係：芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係 お茶の生産地や芦屋町以外のイカで競合する地域などとの連携・交流を検討し、マスメディアでの仕掛けづくりやイベントの共同参加など、他地域との相乗効果を図っていきます。	状況	状況	状況	状況	【実施事業：芦屋釜とお茶にかかわる県産品との連携】 実施目標：芦屋釜の里の茶会や呈茶に八女茶を使用する機会を設ける。 ・感染症対策を講じた運営による茶会を実施する。 ※茶会実施が難しい場合は、特別呈茶や通常の呈茶に八女茶を使用する。 実施結果： 芦屋釜の里の呈茶体験において、抹茶の飲み比べを実施し、八女抹茶を使用した。	A	
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ 福岡県主催事業の「アジアお茶まつり」への協賛等を実施するとともに、呈茶への八女抹茶の使用、夏季限定で八女（星野村）抹茶を使用した抹茶アイスクリームの提供等により、茶に関わる地域との連携・交流の推進に努めた。 芦屋釜の里のイベント等で県産品の活用を検討し、さらなる連携・交流を推進する必要がある。	第1期の達成状況 状況	状況が「C」「D」の場合の理由	
②	親善都市「佐野市」との観光連携の強化 所管課・係：芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係、生涯学習課 社会教育係 親善都市「佐野市」との相互訪問やイベント共同出展、食の交流など交流都市として、観光での活用・連携を検討します。	H30	R1	R2	R3	令和4年度実施結果	令和4年度目標の達成状況	
	状況	状況	状況	状況	『芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係』 【実施事業：芦屋町・佐野市文化交流事業】 実施目標：－ 実施結果：【達成状況：－】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、民間レベルでの文化交流の取り組みは行われなかった。民間レベルでの文化交流は行われておらず、今後も再開の見込みはない。コロナ禍の影響もあり、今後の再開見込みもないことから、担当課としては本事業の必要性はないものとする。 (令和3年度をもって本事業は廃止)	C	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、事業を中止とした。	
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1				
	H30	R1	R2	R3	『生涯学習課 社会教育係』 【実施事業：佐野市との青少年交流事業】 実施目標：親善都市「佐野市」に芦屋町の小中学生が訪問し、佐野市の小中学生とともに2泊3日（8/8～10）の宿泊研修を実施する。 ※保護者説明会（7/5）、2回の事前研修（7/16、7/30）、出発式（7/30）、事後研修（8/27）、報告会（9/10）を併せて実施する。 実施結果：【達成状況：C】 8/8～8/10に宿泊研修を実施する予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて検討した結果、佐野市での研修生の受け入れが困難なため中止とした。			
状況	状況	状況	状況					
事業数 1	事業数 1	事業数 1	事業数 1					

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

				第1期の達成状況	
第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和4年度）のまとめ				状況	状況が「C」「D」の場合の理由
			<p>『芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係』</p> <p>【達成状況：B】</p> <p>平成27年度から令和元年度まで親善都市「佐野市」と文化交流事業（芦屋町・佐野市鑄金作品交流展など）を実施し、芦屋町にゆかりの地域との連携・交流に努めてきた。</p> <p>当初計画していた5ヵ年の交流事業が完了したこと、先方の事情（令和元年台風第19号による被害に伴う、被災者の生活再建支援や公共施設の復旧などに注力）により、令和元年度で、佐野市との文化交流事業は終了することとした。</p> <p>『生涯学習課 社会教育係』</p> <p>【達成状況：B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年交流事業において、芦屋町と佐野市を相互訪問し交流することにより、相互理解を深めるとともに、シビックプライドを育てる機会とした。 ・青少年交流事業は小中学生の健全育成を目的とした事業であり、観光面での交流、連携の実施は難しいと考える。 	B	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)